きょなん

町報　第446号

発行：鋸南町
編集：総務課
〒299-2192
千葉県安房郡鋸南町下佐久間3458
☎0470-55-2111(代)
毎月１回
ホームページ：http://www.town.kyonan.chiba.jp/

9
2005













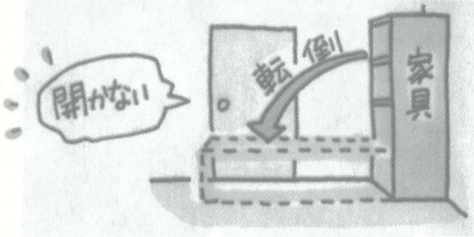
みんな仲良し「くじらクラブ」

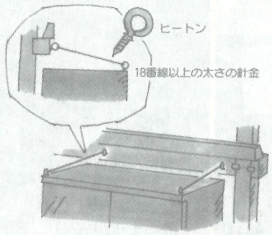
『大地震に備えよう!!』

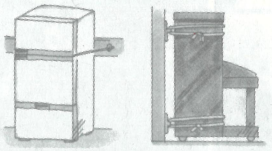
震度6以上の揺れになると、自由に行動ができません。それどころか、動きまわる家具や冷蔵庫などを避けるのも困難だったと阪神・淡路大震災の体験談もあります。何時起こるかわからない直下型地震から身を守るには日頃からの意識の備えが必要です。地震が起きる前に家具の配置などわが家の安全を再確認しましょう。

『家具の転倒・落下防止』

※家具には傷をつけたくない気持ちが働きますが、命が大事。新しく購入する時は転倒防止を店に相談するとよいでしょう。転倒防止は「日曜大工」で十分。







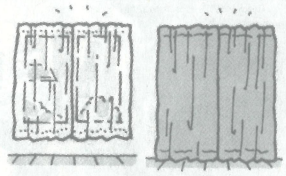
●家具調度品のほか洗濯機、冷蔵庫、ピアノ、その他の小物がドアや引き戸の開閉を妨げて避難や消火活動を不可能にすることもあります。配置だけに気をくばるのでなく、移動、転倒防止をしっかり!

●「危なくないか?」という意識で周りをみてみましょう。たんすや戸棚などの『大物』のほか仏壇、テレビ、オーディオ、入形ケースや置き物、コレクション、棚上の箱などの不安定な姿に気付きます。「阪神・淡路大震災」では多くの人が直撃を受けて命を失っています。

わが家の点検を!

「家具等の転倒・移動を防ぐ!」「ガラスの飛散防止!」「履物と懐中電灯」「最低3日は自力でしのぐ用意を!」

「ガラスの飛散防止」





●被害を伴った地震では常に「ガラスによる負傷」が高い割合いで1位。けがそのものも大変ですが、そのために避難や火の始末、消火活動ができなくなってはもっと重大です。ガラス戸・窓には常時カーテンを。窓や戸棚のガラスには透明フィルムをはって飛散防止を。

『履物と懐中電灯』

●ガラスや陶器破片、その他鋭利なものも飛び散ります。履物(靴やスリッパ)懐中電灯を、各人の手近や要所要所に常に用意しておく。





『最低3日は自力でしのぐ用意を』

大地震の体験から救援物資が届くのは早くて3日、それ以上の場所もあります。最低でも3日間の食べ物等を用意しましょう。

※食べ物は調理しなくても食べられるものがよい。

●飲料水は、1人1日3リットルが目安。(ポリタンクに貯水)
●卓上カセットコンロ、固形燃料、薪、木炭、練炭等を用意。
(バーベキューセット等も役立ちます。)
●携帯ラジオを用意(乾電池等も十分に)
●米、クラッカー、缶詰、もち等の保存のきく食品類を用意。
●その他、各世帯の事情により必要となるものが異なります。たとえば、粉ミルク、離乳食等。日頃から、ご家庭で必要なものを確認しあうことが大切です。

地震が起きてしまったら!

地震が起きたら、「まず、身の安全」を図りましょう。グラッときたら「火の始末」という合言葉がありますが、地震では火災の被害が一番恐ろしいと言われています。電話などが通じないときや生活道路が不通になっている場合は、地域で消火をしなければなりません。火災が起きたら「火事だー」と大声で知らせると同時に初期消火を心がけましょう。声を聞いたら他の電話で119番の通報を再度試みて、消火器をもって現場に駆けつけましょう。しかし、消火の深追いは危険です。早めの判断で避難して下さい。避難への誘導や近所の安否の確認・安全確保など、**向こう三軒両隣の協力**が重要と言われています。また、家族の安否の確認が取れない状況も考えられます。家族で避難する場所を決めておくとよいでしょう。

テレビドラマやCMの撮影が続きました。！

鋸南町は映像会社が集中する東京から近いこともあり、従来からロケが多く行われています。今年7月に入り、海岸を使っての撮影が下記により行われました。



「海猿」の撮影風景

地元の方々にも積極的に協力していただき無事撮影が終了できました。今後とも自然の良さ・人の善さで鋸南町の宣伝となるような撮影を支援していきたいと思います。

期　間	内　容	放映予定日時	主演名	撮影場所
7/30~8/1	フジテレビ ドラマ「海猿」	9/6午後9時~	伊藤英明	大六漁港・真珠島
8/17~8/19	TBSドラマ「限界」	9/23午後9時	坂口憲二(ﾋﾞｹﾞｰﾀｰ)	大六漁港
8/23	CM「ｷｯｺｰﾏﾝ醤油」	9月中旬~	松岡修三	保田漁港

善意の寄付

次の方から町へ善意のご寄付がありました。

石井　宏さん（大六区）	100,000円	景観整備寄付金
伊丹　さち子さん（中道台区）	100,000円	景観整備寄付金
山根　善一さん（上佐久間）	50,000円	景観整備寄付金

安房高剣道部男子団体戦で優勝

8月3日~8月5日に行われたインターハイ2005年千葉きらめき総体・第52回全国高校剣道大会で安房高剣道部が男子団体戦で優勝。剣道部の主将である鈴木悠平選手（田町区）に①「剣道の道に進んだ理由」②「高校生活について」③「インターハイの感想と今後の目標」を伺いました。

①私は小学校3年生の時、父親の剣道をする姿に憧れて剣道を始めました。小学校時代は、勝山剣道スポーツ少年団に所属し、松尾先生をはじめ、多くの先生方に剣道の基礎と礼儀作法を学びました。

②鋸南中から安房高へ進学しましたが、中学3年の秋に、右膝の前十字靱帯を断裂してしまいましたので、高校1年の6月に手術をしてから高校2年の5月まで約1年間をリハビリに費やす事になりました。インターハイまでに間に合うかどうか不安と葛藤の中、インターハイ優勝という目標に向かい只ひたすら稽古に励みました。今、思い出せば辛い稽古も、目標を達成するまでは「辛くはない」「まだ足りない」という気持ちでここまでやってきました。

③所監督、多くの先生方、素晴らしい仲間に支えられ優勝できたと思います。あの日の感動は生涯忘れません。この環境に心から感謝し、これから大学に進み、更に上を目指して頑張ります。



鈴木　悠平選手

千葉県B&Gスポーツ大会

長生郡睦沢町総合運動公園で、平成17年度千葉県B&Gスポーツ大会が開催されました。この大会は県内13のB&G海洋センターの代表が、水上の部・剣道の部・水泳の部の頂点を目指す大会として毎年開催されています。鋸南町海洋センターからは、小学生から高校生までの29名が剣道の部と水泳の部に出場。日頃の同センターでの練習の成果を発揮し、剣道の部では準優勝、水泳の部では見事優勝を飾りました。

≪参加選手≫

剣道

大将：三瓶　司郎　（拓心高３年）
副将：金木　暁　（鋸南中３年）
中堅：八房　智範　（鋸南中３年）
次鋒：平田　萌　（勝山小６年）
先鋒：平田　里彩　（勝山小６年）
補欠：池谷　克彦　（鋸南中３年）
　　田中　友里絵　（勝山小６年）

水泳

菊間　優弥　（鋸南中１年）
久保田　将史　（鋸南中１年）
平田　舞美　（鋸南中１年）
富永　彩文　（鋸南中１年）
鈴木　映梨香　（鋸南中１年）
三瓶　良太　（勝山小６年）
鈴木　航海　（勝山小６年）
角田　洋介　（勝山小６年）
田村　宥貴　（保田小５年）
三瓶　雄司　（保田小５年）
平田　唯　（勝山小５年）
平田　望　（勝山小５年）
三浦　真実　（富浦小５年）
大古　真紀　（富浦小５年）
大胡　聡一朗　（保田小４年）
鈴木　祐之介　（健田小４年）
川崎　駿　（九重小４年）
鈴木　佑紀菜　（勝山小４年）
鈴木　麻美　（勝山小４年）
柴本　美果　（勝山小４年）
板倉　百合恵　（勝山小４年）
田村　光　（保田小２年）



キャンプ～今年の夏も熱かった～

8月6日（土）、7日（日）に青少年相談員（会長鈴木悟）が主催するキャンプを行いました。中学1年生45名が参加し行ったキャンプでは、テント張りから、竹で箸やコップを作ることなど全てを自分たちの手で行います。今年は天気も良く暑い日差しが照りつける中、中学生の気持ちは、その暑さに負けないくらい熱く、多くの体験をしてきました。参加者は、「今までしたことのない貴重な経験ができて、すごく楽しかった。」や「流れ星をたくさん見られて嬉しかった」などと感想を話していました。本当に明るく元気な中学生に出会えたことが、青少年相談員にとっても、一番の夏の思い出になりました。



広げよう子育て仲間の輪 ～子育てママのおしゃべり会～

鋸南町子ども夢未来事業（鋸南町教育委員会内）が主催する、「子育てサポーターリーダー養成講座」で1年間学んだ受講生たちが企画した「子育てママのおしゃべり会」が7月17日（日）に鋸南町立中央公民館で開催されました。母親同士の交流では、日頃の子育ての様々な出来事が熱心に語られ、「誰かに話を聞いてもらいたい」という子育てママの心情が伺えました。子どもたちにとっても、母親が近くにいる安心感があり、サポーターや友達との楽しい時間を過すことができました。



子育てサポーターリーダーが間に入りおしゃべりに花が咲きました。

参加したお母さんからは、「こんなに楽しい雰囲気なら、友人を誘ってくればよかった」「また参加したい」など好評の声が聞かれ、母親たちのよい息抜きの機会となったようです。

夏休みこどもまつり！ ～夜店とうどん作りに挑戦！～

7月24日（日）に中央公民館の裏庭を会場に約100名の子どもと保護者が参加をして、「夏休みこどもまつり」を開催いたしました。鋸南町リーダーズクラブ（会長福原規生）．ジュニアリーダーズクラブ（会長松井美南帆）が夏休みの思い出作りの一環として主催し、4年目を迎えた今年は、テーマを『こども夏祭り』として会場全体にちょうちんを飾り、「水ヨーヨーすくい」や「水あめせんべい」などの夜店が立ち並びました。また、うどん作りでは、時間内に茹でて食べることはできませんでしたが、多くの子どもたちが自分たちで作った手作りうどんを持ち帰りました。会場には、祭り太鼓の音が響き渡り、参加者は「保田のお祭りが、今年は早くきたみたい」など、感想を話していました。



勝山保育所で保育体験をしました。

8月3日、4日、5日、23日、24日の5日間、勝山保育所で、鋸南中学校の19名の生徒が保育体験学習を行いました。



「おいしい？」「こぼさないで食べてネ」小さい子への言葉かけも慣れてきた中学生

水鉄砲やプールでの水遊び、また、ブロックや砂場で一緒に遊んだり、おやつや食事の面倒をみたりおむつ交換をしたりと、中学生の普段の生活の中では、経験できない貴重な体験をしました。始めは小さい子にどう接したらよいのか分からず戸惑っていた生徒も、「お姉ちゃん　あそぼぅ」「お兄ちゃん　抱っこ」と声をかけられ一緒に楽しそうに遊ぶ姿が見られました。保育所の子どもたちにとっても、大きいお兄さん、お姉さんと遊ぶのをとても喜び楽しんでいました。半日保育体験学習は毎月第2土曜日に行っています。

見返り美人の里 笑楽の湯

今月のお風呂大好き



今月のお風呂大好きは、中山徳三さんです。「お風呂は長生きの秘訣」

今月のお風呂の日は25日（日）「しょうが風呂」です。

しょうがは、古くから薬効性の高い漢方として親しまれてきたもので、葛根湯・小柴胡湯など、よく知られた漢方薬の材料となっています。

家庭でもしょうがの解毒・殺菌作用や整腸作用はよく知られていて、青魚を煮るときにも欠かせませんし、料理の薬味にもよく使われます。風邪をひくとお母さんがしょうが湯を作ってくれました。また、寿司屋の「ガリ」は口直しですが、しょうがの殺菌作用も期待されているようです。

今月は、この「しょうが」をお風呂に使います。

しょうがの辛み成分は新陳代謝を促し、風邪予防、冷え性、神経痛などに効果があります。

臭いもさわやかな「しょうが風呂」ゆっくりつかって疲れを回復しましょう。

つなげよう声のネットワーク

声のバトンタッチ（42）

町民のみなさんの「声」をバトンタッチでつないで、友だちから友だちへ「声」のネットワークを広げていくコーナーです。

お尋ねする内容は、①仕事や趣味　②最近心に感じた事やうれしかったこと　③町政に望むこと　などです。次はあなたもネットワークの一員です。

①薬局で化粧品を担当しています。私の年代になると悩みが増えて、自分の心と体をどう癒そうか、素敵に年齢を重ねていきたいと思っています。趣味は胎教にと始めた書道、休みながらでも続けています。一点を見るばかりでは、全体の流れが見れなくなったり、気付くことが大切だなあと思います。無心で集中する心地良さは、いい時間を過ごせます。

②私の誕生日に長女から「百均の額だよ」と渡されました。中には自筆で“沢山の悲しみを背負っても笑顔でいられるように”と涙が溢れました。長男を駅まで送ると「忙しいのに悪いな、有難う」母としてうれしい。共に生きる喜びを実感します。



③グッ土ハートきょなんを立ち上げ、第1・第3日曜日に子どもたちと野菜を作って食べたり、道の駅の花の手入れをしています。鋸南町には元気な方が沢山います。ボランティア活動に積極的に参加していく体制作りを促進し、我町を、みんなの力で進化させましょう。



髙橋　和加江さん
（町区・サービス業）

次回は阿部　恵美子さん（竜島区）へバトンタッチされます。



白熊　剛さん（本郷区・公務員）

①私は鋸南地区衛生組合に勤務し、4月からし尿処理室で汲み取りの作業をしています。汲みにいった先でお客様に「ありがとう」「ご苦労さま」と声をかけて頂くと、自然に笑顔になり「頑張ろう」という気持ちになります。

②やはり子どもの成長です。最近、口ごたえをして生意気になって来ましたが、それも楽しいです。後は夫婦の趣味である祭りを子どもも好きになり、毎日ビデオを見たり、太鼓を叩いたりしています。兄が叩くのを見て、弟もマネをしているのを見ると、“目指せ！まつりバカ一家”といったところですね。

③自立の道を歩んでしまった今、町民が手を取り、一致団結して「頑張ろう」と思える町づくりを町民全員にわかるように見せて下さい。また、子どもたちやお年寄りの住みやすい環境にしてほしいと思います。これからの鋸南町に期待しています。

次回は石井　寛章さん（中佐久間区）へバトンタッチされます。

ボランティア日記

絵の講師

代表　仲野　邦男

私は、趣味で絵を描いていますが、この趣味を活かして何か地域のお役に立てればと考え、「すこやか」で行われているデイサービスにおじゃまをするようになりました。

平成15年のクリスマス会に、「鋸南の冬景色」として山椿、水仙、梅の花の咲いている丘から浮島を望む風景画を2・8m×2mの紙に画き色紙をちぎって貼りつけるちぎり絵形式で、利用者、スタッフ、ボランティアの協力を得て製作しました。皆さんには大変好評でした。以来デイサービスでいろいろなイベントがあるごとに、みんなでこつこつ製作しています。利用者のリハビリや生活の張につながることが出来たら良いなと思っています。毎年2月に中央公民館のロビーに作品を展示しますので、御覧下さい。



ちぎり絵の製作に取り組む仲野さん

家庭教育通信 すくすく NO.50

「初めてのしつけ、もう一度しつけ」

今回は、6月に行いましたコスモス学級についてお話いたします。元小学校長で、鋸南町の家庭教育学級の生みの親でもあります安藤先生にお話をお伺いいたしました。

◆親子の関係を考える。

子どもを授かったという言葉から、現在では、子どもができた。という考えが多くなっているように思えます。親子の関係で、「縦」の関係では、親が子を支配することや子どもも親が一番と思うことなど、どんな仕打ちをする親でも、子どもは無条件に親を受けいれてしまうことがあります。しかし、思春期頃になると関係が逆転し、子どもが親を支配するようになり、「子どもが怖い」という親もいるそうです。また、「横」の関係では、自分の考えをはっきり言える子、それを受けいれてくれる親という関係が築きやすくなります。子どもの話をよく聞き、子どもの人権を保障することが「横」の関係になります。

◆『甘え』と『甘やかす』は大違い。

子どもは甘えることで、自分の気持ちを伝えます。例えば、抱っこをしてもらう為に、まとわりついたりもします。その時にはしっかりと子どもを抱きしめてあげてください。大きくなっても親の膝にのりたいときがあります。その時は甘えさせてあげてください。親の愛情をたくさんもらった子は幸せを感じることができます。また、甘やかすことは、わがままに育ちます。子どもがほしがっているから何でもあげてしまう。「おやつ頂戴！」本当はもうすぐ夕食だから食べさせたくない。子どもがほしがっているからあげてしまうのは、甘やかしです。「ご飯もう少しだから待っていてね」と我慢させたり、お手伝いのできる年齢だったら「もう少しでご飯だからお手伝いして」と手伝ってもらうのも良いことです。甘えと、甘やかすは似ているけど違うことです。甘やかしは我慢のできない子に育ちます。反対に我慢の場を教えられている子は、難しいことにも頑張る子になります。

◆親は生き方を示す。

「親の言うように子は育たない、親のするとおりに子どもは育つ。」

親が手本を見せてあげることが大切です。思いやりのある子に育ってほしいと思ったら、子どもの興味や関心、心の動きなどに親自身も共感することや親が人生をどう生きるか示すことが大事です。

◆自己決定できる力を育てる。

自分で考えて自分で行動できるように、小さいときから自分のことは自分でしていく。（やってあげることがよいことではない。）「何をしてるの、早くしなさい」など子どもがやろうとしている力をとってしまっていませんか。上手くできなくても、一人でできたときは「よくできたね」と認めてあげる。上手くできないときは教えてあげることで上手くなっていく。

◆おわりに

子どもの長所も短所も、まるごと受けいれる。ぐずぐずしていることを欠点と見るのではなく、慎重にやっているとみれば長所になります。子ども一人一人、みんなよいところをもっています。「みんなちがって、みんないい」周りの大人がその気持ちを持つことが大事だと思います。

教育委員会　生涯学習係
（☎五五―二一二〇）

健康通信

「中心性脈絡網膜症」

中心性脈絡網膜症は、網膜の中で一番ものがよく見える黄斑部というところにむくみができて起こる眼の病気です。

軽い視力障害を生じ、特に中心部が見えにくくなり（中心暗点）ものが小さく見えたり（小視症）変形して見えたり（変視症）します。また遠視が起きることもあります。30代40代の働き盛りの男性の片目におこることが多く、患眼だけで見ると、かすんだりゆがんで見えたりします。

発病後3～4週間を過ぎるとむくみは吸収され始め、自覚症状も軽くなってきて治癒に向かいますが、完全には元に戻らないことが多いようです。腫れの引いた後も網膜にシワができているために、しばしば変視症を残すこともあり、再発することもあります。しかしこの病気で失明することはありません。

むくみは眼球を包む網膜と脈絡膜の間の色素上皮細胞層という膜に裂け目ができて、網膜の下に水分がたまり、腫れたものです。その原因ははっきりしませんが、過労や精神的なストレスが誘因と考えられています。

黄斑部の腫れは眼底検査で調べます。水が漏れている場所を特定するために蛍光眼底造影検査を行います。

治療はまず心身の安静を守り、腫れを取り除く薬を用います。治癒には数ヶ月から一年程度かかります。腫れが強かったり、再発を繰り返すときには、水漏れ部分にレーザー光線で光凝固療法を行い、患部を固め、水漏れの広がりを止めます。この後3週間程度で腫れが引きます。

再発を予防するには、全身の健康と摂生に気をつけるべきです。秋の夜長、読書やテレビ・ビデオ・DVD、コンピューターなどで眼を酷使しないように心がけ、十分な睡眠をとり、夏の体力低下を取り戻すように生活しましょう。

強い精神的ストレスがある場合はこれを取り除くことが大切です。

（保健福祉課　保健係）

歴史資料館

●連載158

頼朝と東国武士団（4）

房総の雄、上総介広常

房総の豪族としては、最後に頼朝に従った上総介広常ですが、もともと源氏とは深いつながりがありました。頼朝の父、義朝は若い頃、上総曹司と呼ばれていました。上総の若殿という意味で、つまり義朝は、上総国で生まれ育ったと考えられます。上総国畔蒜庄（君津市）は、曽祖父の頼義が、前九年の役の功により賜った土地で、安房国丸御厨（丸山町）、武蔵国大河土御厨（埼玉県松伏町）とともに源氏相伝の家領でした。義朝は、上総氏のもとで育ったのかもしれません。

のちに鎌倉に移った義朝のもと、青年期の広常も鎌倉に館を持ち、義朝の家子（家臣）になり、保元、平治の乱を戦いました。平治の乱では、義朝の長男、義平十七騎の一騎に数えられています。

平治の乱で源氏が敗れ、広常は上総に戻りますが、家督は兄の常茂が継ぎ、平家になびいていました。その常茂が大番役で京都に出向いている最中に、頼朝の挙兵があったのです。

広常は、この機に乗じて常茂党を掃討し、実質的に上総国を手中に治めました。これに手間取って頼朝のもとへ遅参したというのが、どうやら真相らしいのです。

鎌倉幕府成立の真相

東国武士団に支えられ鎌倉入りした頼朝は、富士川の戦いで平家に勝利し、そのまま京へ攻め入ろうとしますが、上総、千葉、三浦氏らの進言で、それより、まず東国の平家方、常陸の佐竹氏征伐を実行します。

彼らにとって、京のことなどどうでもよかったのです。この機会に、所領をめぐり代々の宿敵である相手を大義をもって討つことができ、自分の利益を最大限に引き出せる頼朝という旗を担ぎ出したのに他ありません。

頼朝も、それにうまく乗って、東国武士団を掌握し、鎌倉に武士の利益を守る新しい政権を立てようとしました。それが鎌倉幕府だったのです。ですから、御家人となった彼ら同士の中でも、じゃま者は、すぐに消される運命にありました。

最大の軍事力で、頼朝旗揚げに功労した広常も、その自負からか、頼朝に対し不遜なふるまいが目立っていたと言われます。

寿永二年（一一八三）、頼朝に東国の行政権をまかせることが、朝廷から認められました。名実ともに東国武士が頼朝の支配化となったわけです。頼朝は、もはや目の上のこぶでしかなくなった広常の暗殺を決意します。命を受けた梶原景時は、広常の館を訪れ、碁を打っている最中に短刀で広常の胸を刺しました。

しかし、これは序章にすぎませんでした。幕府成立の功労者たちは、その後、次々と悲劇の運命が待っていたのです。

（続く）

［歴史民俗資料館・笹生浩樹］



頼朝が広常を待っていた待崎（鴨川市）

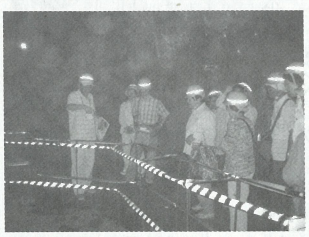
生涯学習 みんなで学ぼう

「戦争を考える教室」



戦闘体験を語る青木氏

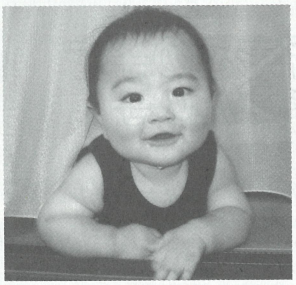
太平洋戦争が終ってちょうど60年の今年、戦争に関する映画を観たり、戦争中を生き抜いた鋸南町の方々から体験談を聞いたり、戦争の遺跡を見学することで、戦争を学ぼうという教室が開催されました。当時、役場職員だった森ユキさん（竜島）は、昭和20年５月８日のP51による列車への機銃掃討の時の様子を、東京から疎開し、小学生だった石井茅子さん（勝山）は空襲の時の下校の様子や、防空壕へ避難した時の様子等を、又、現役兵として23歳で中国に出征した青木源太郎さん（下佐久間）からはすさまじい戦場の様子をお聞きしました。館山市に今も残る、広大な「赤山」地下壕や、空襲から戦闘機を守るために作られた掩体壕などの戦跡もNPOのガイドさんの説明で当時の様子を知ることができました。つらい戦争体験を持つ参加者もあり“戦争を繰り返してはならない”“戦争を語り継ぐことが大切”と熱い思いを語ってくれました。



重要な軍事施設だった赤山壕

問い合わせ先　☎５５－４１５１　中央公民館

わんぱく登場



勇　太くん（9か月）

〔金木忠俊さん　第１子　中佐久間〕

初めての夏はとても暑くてびっくりしました。僕は汗のほかによだれも出ちゃってます。そして機嫌はすこぶる良好。ユウタスマイルに初対面の人もみんないちころです。何でも初めてのことばかりの一年だけど、やさしくて頼もしい家族に囲まれているので、怖いことなんか何もないって思ってます。

桜だより

～さくら守養成講座開催～

今年も5回の予定で「さくら守養成講座」が、開催されております。

15名の参加により、すでに3回の講座を終了しています。

この養成講座は、さくら守としての桜に関する知識と育成管理技術を身に付けるために日本花の会の小山講師を招き、開催されています。



初回の講座では、桜に関する基礎知識として、桜の種類・特性・形態について講座が行なわれました。第2回の講座では、佐久間ダムで施肥と雑草対策の現地実習を行い、第3回の講座も、佐久間ダムで病害虫防除と鳥獣害についての実習を行ないました。

次回の講座ついては、桜の繁殖を行う予定です。台木となる大島桜の苗木に、切り取った穂木（つぎ芽）をつぎ木する方法の実習を行います。

最後の講座は、整枝剪定技術等について行う予定です。

今後も桜を育てていくうえで、1人でも多くの町民の方々にさくら守になっていただき、「日本一の桜の里」に向けて、桜を守り育てる活動をしていきましょう。



B&G NEWS

◇**温水プール開館時間**　10：00～21：00
※12時～13時・17時～18時は休憩

◇**休館日**　月曜日

◇**プール使用料金**
（町民）　小中学生 200円・一般 400円
※幼児は無料



≪B&G海洋センター水泳教室紹介≫

☆　ラッコ・イルカ　コース　☆

幼稚園児を対象とした水泳教室のクラスわけが変わります。

- もぐれない（水がこわい・初心者）……ラッコ
- 水に浮ける（水がこわくない）……イルカ

ラッココースは、水への恐怖心をなくすことを目標に、
イルカコースは、“泳ぐ”ことを中心に練習します。
ちびっ子スイマーの参加をお待ちしています！

◇問い合わせ　　鋸南町Ｂ＆Ｇ海洋センター　55－4411

あの子もこの子もきょなんの子　おめでとう

（7月26日から8月25日迄の届け分）



赤ちゃん	生まれた日	両親の名前	地区	わが子へのメッセージ
☆鈴木　獅音（しおん）くん	平成17年8月1日	猛　・　恵　（第1子）	田　町	たくましく、やさしい子に育ってね。

※掲載を希望しない場合は、出生届提出時に申し出てください。

写真さしあげます

広報に掲載した写真さしあげます
一部希望に添えない場合もあります

◇総務課　広報係
☎55－4801

人の動き

世帯数	3,750世帯	（－ 7）
人口	10,117人	（－11）
うち男	4,876人	（－ 8）
女	5,241人	（－ 3）

8月1日現在　（前月比）

編集後記

7月23日に起きた地震で、皆さんも防災に対する意識が高まっているのではないでしょうか。

日本は「地震国」と呼ばれるように、多くのプレートが存在します。何時起こるかわからない地震には、日頃からの備えが重要です。この機会に家具の転倒防止策や家具の配置を見直しましょう。

（K）